

第2回国際化学物質管理会議がスイスで開催されました



平成 21 年 5 月 11 日から 15 日にかけて、スイスのジュネーブで国連環境計画 (UNEP) が主催する「第 2 回国際化学物質管理会議」が開催されました。

2006 年 2 月にアラブ首長国連邦のドバイで開催された第 1 回会議で 2020 年までに化学物質が人の健康・環境への影響が最小となるような方法で生産・使用されることを目標とした「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ」(SAICM) が策定されています。

今回の会議では、SAICM の実施状況がレビューされ、新規の課題としてナノ材料の安全性、製品中の化学物質、e-waste 及び塗料中の鉛について、第 3 回会議に向けた検討事項が決定されました。また、今後の会議における「新規の課題」の選定方法についても決定されました。

なお、これら新規の課題の検討の成果については、平成 23 年を目途に作業部会が開催され、進捗状況の検討がなされ、議論のうえ、第 3 回会議での検討に付されます。

当社では、製品中のフタル酸エステル類やムスクキシレン等の有機化学物質及び鉛等の無機化学物質の分析を行っております。

資料 2009 年 5 月 1 日付 環境省 報道発表資料
2009 年 5 月 18 日付 環境省 報道発表資料
2009 年 5 月 8 日付 EIC ネット

商品開発箇所 須賀重政